

## 国土交通省中小企業イノベーション創出推進事業(SBIR フェーズ3) 空港分野に採択されました -国際競争力強化に資する交通基盤づくりに向けた技術の開発・実証-

ANAホールディングス発のスタートアップであるavatarin株式会社（代表取締役CEO：深堀 昂、以下「avatarin(株)」）は、国土交通省令和4年度第2次補正予算「中小企業イノベーション創出推進事業」※1 空港分野「空港業務の生産性向上に関する技術開発・実証」に採択※2されました。事業期間は2027年度末、交付金上限は5.21億円となる「空港業務の人手不足の抜本的解決に向けたアバターロボットの大規模実証」事業（以下、「本事業」）を全日本空輸株式会社（以下「ANA」）と協力し推進していきます。

本事業を一般化していくため、以下の3つのテーマにおいて、技術開発及び実証を実施していきます。

### テーマ①) アバターロボットを活用した遠隔顧客支援領域の大規模導入に関する実証

空港にお越しになるお客様や航空機を利用するお客様に対して、アバターロボットを活用した遠隔操作による顧客支援を想定した大規模実証を実施します。空港業務の従事者が、多種多様な空港業務の遠隔サポートを行うため、空港で大規模にアバターロボットを稼働させることを目標とした実証を行います。

### テーマ②) アバターロボットを活用した空港間のリソースシェアリングに関する実証

お客様の需要や業務の量に関わらず、空港を利用するお客様へ適切なサービスを提供するため、空港間での人材のリソースシェアリングを目標として、アバターロボットを活用した複数の空港でのリソースシェアによる遠隔サポートのオペレーション実証を行います。

### テーマ③) アバターロボット等の遠隔操作での業務を前提とした職場環境の最適化

今後アバターロボット等を現場に導入していくと、遠隔操作で1日8時間業務を行う等、これまでのワークスタイルとは違った形での業務遂行が求められるようになります。ワークスタイルの変化に対応して、業務遂行が行われるよう、これまでのPCやスマートフォン、タブレット等の操作の快適性に関する人間工学等の先行研究から、アバターロボットを利用する際の疲労を感じづらく、快適に複数台のロボットを動かすことができる操作環境の最適化に取り組みます。

avatarin(株)は、アバターロボットの技術を活用した人手不足の解決、及び人材の生産性向上を目指していきます。

※1 国土交通省報道発表資料

中小企業イノベーション創出推進事業（SBIR フェーズ3 基金事業）を公募します

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo17\\_hh\\_000161.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo17_hh_000161.html)

※2 国土交通省報道発表資料

中小企業イノベーション創出推進事業(SBIRフェーズ3基金事業)に係る補助対象事業の採択結果について

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo17\\_hh\\_000166.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo17_hh_000166.html)

## ◆avatarin(株)について

avatarin（アバターイン）株式会社は「移動の民主化～すべての人が持続的にいつでもどこでも自由に移動できるように～」を目指したANAホールディングス発のスタートアップです。これまでの移動の概念を見直し、肉体の移動ではなく、あらゆるロボットやモビリティに人の意識、技能、存在感を伝送する新たな移動サービスの普及に取り組んでいます。また、独自開発の通信プロトコルや遠隔AIモジュールなどを通じて、遠隔操作の高速化や遠隔操作からのAI化に挑戦しています。

<https://about.avatarin.com/>

## ◆avatarin(株)の目指す未来、今後の展開

アバター技術を活用した社会課題解決のビジョンを実現するための鍵となる技術として、「avatar core®（アバターコア）」の独自開発に取り組んでいます。ハードウェアに加え、ソフトウェア、クラウド及びAIを組み合わせることで、超低遅延で大容量の映像や音声、制御データなどをインターネット経由で高速伝送することを可能にするシステムモジュールとして、ロボットやモビリティに搭載し、遠隔制御やAI学習での活用を目指しています。

avatar core®の研究・開発において、現在は2つのプロダクト「newme（ニューミー）」及び「アバターコアハードウェアとソフトウェア」を軸に開発を進めています。

newmeは遠隔で自由に動きまわりながらコミュニケーションをとることができる遠隔AIロボットであり、2021年より水族館や美術館などで運用を始めています。今後は、国内空港をはじめ、海外空港やホテル、病院、役所、駅、コンビニなどサービス案内業務、誘導などが必要な現場を中心として順次展開をしていきます。

アバターコアハードウェアとソフトウェアについては、今後登場するさまざまなロボットや自動運転車、ドローンなどのモビリティ等に搭載していきます。遠隔からの超低遅延リアルタイム制御を実現するとともに、AI学習によって人の能力を拡張することを目指します。

世界ではロボティクスやAIによる人の作業代替を加速させる技術が注目されていますが、avatarin(株)は、人の享受する体験価値の向上に繋がる身体能力拡張のためのロボティクスやAI技術を追求しています。人が必要とする場所へ、年齢を問わず、気軽に移動することを実現するほか、これまでその人ができなかったことをアバターで能力拡張し、できるようにしていく世界を創っていきます。あらゆる人がアバターという持続可能で気軽に誰でも使える乗り物で未知なる場所に瞬間移動することができたり、新たな人と出会うことができたり、毎日がワクワクするようなライフスタイルを日本から世界に提案していくことを目指します。



© avatarin Inc.

avatar core®概念図